



あんないっしょ、いっしょ、いっしょ

FLOWN PLYA

写真 1 写真 2
8/ 21 御荘夏祭り

御荘夏祭りは、平城小トランペット鼓隊によるオープニングパレードに続いて、愛南サンバに合わせた小中学生や各種団体による踊りパレード、樽みこしパレードで賑やかに始まり、歩行者天国となった平城商店街周辺が大いに盛り上がりました。

また、フラダンスショーなどが行われた僧都川河川敷の特設ステージでは、愛南町ご当地キャラクター「なーしくん」のお披露目もありました。岡田敏弘副町長から、「なーしくんは町民の皆様との触れ合いを通じ、誰からも愛される人気者となるよう努力していきますので、ご声援をよろしくお願ひします」と「なーしくん」の紹介がありました。

このほか、祭りのフィナーレを飾る約 3,500 発の花火が打ち上げられ、御荘湾の夜空を華やかに彩りました。

本日! 海日和!! vol.35 「食欲の産卵期」



カサゴを飲み込むアカエソ

「食欲の秋」とか「天高く馬肥ゆる秋」とかいわれているが、魚の食欲が高まるのは産卵期だろう。

夏場に瀬ノ浜に潜ると、アカエソのペアが見られる。メスは産卵のため、オスよりも体が大きい。小さなオスが大きなメスにぴったりと寄り添っている。ダイバーが近づいてもオスが先に逃げることはない。メスが逃げだすと、すかさず後を追いかける。この時期のオスには、メスしか見えていないようである。

あるメスの頭が異様に膨らんでいるので、そっと近づいてみた。なんと、カサゴが口の中にスッポリと入っているではないか。カサゴは口をパクパクさせながら必死にもがいていたが、もう逃れる術はない。哀れアカエソの卵の養分になっていくのだろう。

カサゴには気の毒だが、弱肉強食の原理があってこそ、生き物の命は維持される。我々人間もその輪の中のことを忘れないようにしたい。

(撮影地: 瀬ノ浜) 愛南サンゴを守る会 西尾知照 ともてる

写真 6
9/ 14 棚田を照らす 幻想的な灯

今年の「街道灯籠祭り愛南」の最後を飾る『山街道をゆく』が山出地区で開催されました。同地区の棚田には、ろうそくと和紙を使った手づくりの竹灯籠約 450 個がボランティアの皆さんにより設置され、日暮れとともに幻想的な灯りが浮かび上がりました。



最優秀賞
「七匹のネコ」▶

写真3
9/ 7 伝統受け継ぐ
緑八朔相撲

伝統ある「緑八朔相撲」が緑ふれあい広場土俵で開催され、小学生の部に約40名、一般の部に約50名が参加しました。

小学生の部(個人戦、団体戦)に続いて行われた一般の部では、団体戦や勝てば連続して取組を行う三番勝、五番勝などの宮相撲形式での個人戦が行われ、迫力ある取組に会場から大きな歓声と拍手が飛び交いました。

写真4
9/ 8 泥まみれで交流

篠山クラブ(松本仁志会長)の主催により、篠山小学校体育館横の田んぼで「第23回県境篠山騒動どろんこサッカー大会」が開催され、県内外から一般の部33、女子の部11の計44チームが出場して泥まみれの熱戦を繰り広げました。

大会は、一般の部を本町の「池田牧場 with 遊厨」が、女子の部を「このみに愛を!JAPAN。3年目」(松山市)が制しました。

また、会場では「お楽しみ抽選会」や「どろんこフラッグス」なども行われ、賑やかな一日となりました。

写真5
9/ 12,13 パールジュエリー
デザインコンテスト

ほっと計画委員会(河野満代表)が毎年主催している「パールジュエリーデザインコンテスト」の審査会が、DE・あ・い・21で行われました。

今年のコンテストには、32の都道府県とオランダ、台湾からリングやネックレスなど計211点の応募がありました。審査会では、最優秀賞に長澤知美さん(東京都)のネックレス「七匹のネコ」を選んだほか、優秀賞や特選、特別賞など入賞作品を選定しました。